

就労準備支援事業や労訓練事業、職業紹介等にかかる具体的推進策の普及と  
今後問われる効率的な業務運営システムのあり方に関する調査研究

A´ワーク創造館 (報告書A4版 200頁)

事業目的

自治体による就労支援、相談から就労準備支援、就労訓練、職業紹介そして定着支援に至る一連の「プロセスとして継続する就労支援」を推進するため、29年度調査研究の成果の1つ「自治体の就労支援の進め方と『無料職業紹介事業の活用』手引き」(以下「手引き」)の中でまとめた、就労準備支援等の内容を具体的なプログラムとして定義・シート化するアイデアを引き継ぎ、30年度調査研究では「就労体験等プログラムづくりワークショップ」を全国各地で実施し、そのアイデアを相談支援の現場で実際に検証するとともに、具体的なプログラムシートづくりの内容や形式、手順等を整理し、就労準備支援等を利用した支援の推進策としてまとめる。

また「無料職業紹介の活用」について、手続きを行った自治体が増えており、就労支援の中で「活用」する効率的な業務運営、特に職業紹介等に関する情報管理を含む「就労支援システム」を検討・開発し、必要な団体に提供する。

事業概要

- 1 就労体験等プログラムづくりワークショップの実施  
全国24団体において、のべ39回のワークショップを開催
- 2 有識者による調査研究事業検討委員会とワーキンググループ会議  
第1回：平成30年10月9日(火) 東京都 第2回：平成31年3月13日(水) 東京都  
体験等シート開発・活用ワーキンググループ(大阪) 会議3回  
同 ワーキンググループ(北海道) 会議2回  
無料職業紹介の活用システムワーキンググループ 会議2回
- 3 手引き「就労準備支援や就労訓練等を利用した支援の進め方」作成 1200部印刷
- 4 事業報告会と記念講演  
日時：平成31年3月18日(月) 東京都
- 5 検討委員会の構成  
五石 敬路(大阪市立大学創造都市研究科准教授)※座長  
立岡 学(NPO法人ワンファミリー仙台 理事長)  
佐藤洋作(NPO法人文化学習協同ネットワーク代表理事)  
菅野 拓(人と防災未来センター研究員)  
一見千鶴(A&S Communication代表・システム開発専門家)  
西岡 正次(Aダッシュワーク創造館就労支援室室長)  
(オブザーバー)  
厚生労働省・職業安定局 担当者 厚生労働省・社会援護局 担当者

## 調査研究の過程

事業概要に同じ

## 事業結果

○成果発表

① 事業報告会&記念講演の開催

就労体験等プログラムづくりワークショップ（全国24団体、のべ39回開催）の概要報告  
体験等の定義・シート化の事例報告（旭川＝相談支援員向けのガイドラインとして作成した「体験等シート」をもとに、相談者向けのわかりやすいシートづくりの紹介。大阪＝シートづくりの実際、書き方を紹介）

「無料職業紹介の活用」を含む「就労支援システム」の紹介・利用案内  
記念講演「発達障害を職場でささえる」（講師：宮木幸一氏）

② 「無料職業紹介の活用」を含む「就労支援システム」（効率的な業務運営・情報管理システム）開発  
就労支援として実施する職業紹介の進め方、情報（求人（企業情報）・求職・紹介、就労準備支援等の支援情報）の管理システム

③ 報告書・手引きの配布

就労体験等プログラムづくりワークショップの概要  
ワークショップの進め方の紹介

「無料職業紹介の活用」を含む「就労支援システム」の利用方法  
「発達障害を職場でささえる」（講演抄録）

## 事業実施機関

Aダッシュワーク創造館（有限責任事業組合大阪職業教育協働機構）

郵便番号 〒556-0027

所在地 大阪市浪速区木津川2丁目3番8号

電話番号 06-6562-0410